This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-51815

(43)公開日 平成9年(1997)2月25日

(51) Int.Cl.6

識別記号

庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

A45D 33/00

650

A 4 5 D 33/00

650Z

審査請求 未請求 請求項の数5 FD (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平7-226096

(22)出顧日

平成7年(1995)8月11日

(71)出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

(72)発明者 袴田 征一

神奈川県横浜市港北区新羽町1050番地 株

式会社資生堂第1リサーチセンター内

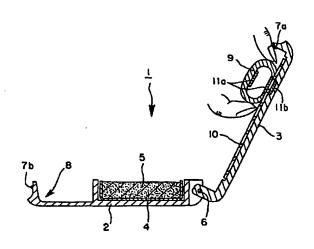
(74)代理人 弁理士 松浦 恵治

(54) 【発明の名称】 コンパクト容器

(57)【要約】

【目的】 本発明は、コンパクト容器の附属品を容易に 取り出すことができるコンパクト容器に関する。

【構成】 容器本体内部に附属品を納めるコンパクト容器において、その附属品に磁石又は磁石吸着素材を取付け、容器蓋体の少なくとも一部に磁石又は磁石吸着素材を取付けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器本体内部に附属品を納めるコンパク ト容器において、その附属品に磁石又は磁石吸着素材を 取付け、容器蓋体の少なくとも一部に磁石又は磁石吸着 素材を取付けたことを特徴とするコンパクト容器。

【請求項2】 附属品に取り付けた磁石又は磁石吸着素 材が、附属品の内部に取り付けられて表面から見えない 状態になっている請求項1記載のコンパクト容器。

【請求項3】 容器蓋体に取り付けた磁石又は磁石吸着 素材が、鏡の裏面に隠れる位置に取り付けられている請 10 求項1、請求項2記載のコンパクト容器。

【請求項4】 容器蓋体に取り付けた磁石又は磁石吸着 素材が、容器蓋体の天板表面に取り付けられている請求 項1、請求項2記載のコンパクト容器。

【請求項5】 容器蓋体の磁石又は磁石吸着素材取付位 置が、膨隆部に形成されている請求項1、請求項2、請 求項3、請求項4記載のコンパクト容器。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、コンパクト容器の 20 附属品を容易に取り出すことができるコンパクト容器に 関する。

[0002]

【従来の技術】一般に、コンパクト容器の内部には、中 味たる化粧料のほかに、パフ・ブラシあるいはチップ等 の附属品が同時収納されている。従来知られているコン パクト容器は、その内部の化粧料を納めるための化粧料 収納部の周囲に、上記附属品を納めるための収納凹部が 形成され、その収納凹部に附属品をはめ込み状態で収納 していた。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】コンパクト容器は、携 帯性やデザイン上の要請から、可能な限り小さくするよ うに考えられ、究極的には附属品の収納凹部は小さく狭 いものとなっていた。このため指先等が入りにくく、附 属品は非常に取り出しにくい状態でコンパクト容器内に 納められていた(図9及び図10参照)。

【0004】ここで附属品を取り出し易いようにするた めに、収納凹部を大きくするとコンパクト容器はかなり 大きなものとなってしまう問題があった。

【0005】さらに指の爪をかなり伸ばしている使用者 もおり、このような使用者がコンパクト容器の附属品を 取り出す際には、爪で化粧料を傷付けてしまうことがあ った。

【0006】また使用者の中には、コンパクト容器を逆 さまにして附属品を掌の中に落とすようにして取り出す 人もいるが、このような使い方をすると化粧料が容器か ら外れたり、化粧料の粉が落ちて回りを汚す問題があっ た。

品を取り出し易く工夫したコンパクト容器を提供するこ とを目的とするものである。

[0008]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため に、本発明にかかるコンパクト容器は、容器本体内部に 附属品を納めるコンパクト容器において、その附属品に 磁石又は磁石吸着素材を取付け、容器蓋体の少なくとも 一部に磁石又は磁石吸着素材を取付けたことを特徴とす るものである。

[0009]

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面の実施例によ り具体的に説明するが、本発明はこれらに限定されるも のではない。

【0010】コンパクト容器1は、一般的に容器本体2 に容器蓋体3を開閉自在に枢着して構成されるもので、 容器本体2の内部にはレフィル容器4等に詰められたア イシャドーやブラッシャー等の化粧料5が取り外し交換 自在に装填されている。容器本体2と容器蓋体3とは軸 6にて枢着され、対称位置付近に形成された係止部7 a、7bにて容器蓋体3の閉状態を保持できるよう構成 されている。

【0011】ついで容器本体2の内部には収納凹部8が 形成され、その収納凹部8には附属品9が収納されるよ うになっている。

【0012】ここで附属品9としては、コンパクト容器 1内の化粧料5を使用する際に便利なパフ・ブラシある いはチップ等がある。

【0013】またコンパクト容器1の容器蓋体3の内面 には、使用者の便宜のため鏡10が取り付けられること 30 が多い。

【0014】本発明では、前記附属品9に磁石11a又 は磁石吸着素材11bを取付けている。この磁石11a 又は磁石吸着素材11bの取付位置は、附属品9の何れ の位置であっても構わない。また磁石11aと磁石吸着 素材11bの相互位置は逆であってもよく、もちろん磁 石吸着素材11bを別の磁石で代用することも可能であ

【0015】ついで容器蓋体3には、同様に磁石11a 又は磁石吸着素材11 bが取り付けられている。この磁 40 石11a又は磁石吸着素材11bも、容器蓋体3の何れ の位置に取り付けられてもよく、また容器蓋体3の全面 又は一部であってもよく、さらには容器蓋体3そのもの を磁石11a又は磁石吸着素材11bで形成するように してもよい。

【0016】特に磁石11a又は磁石吸着素材11b を、図1及び図2に示すように鏡10の裏面側に取り付 けると、磁力吸着素材11bが露出しないので存在が目 立たなくなるため好適なものとなる。

【0017】同様に、図5に示すように容器蓋体3の天 【0007】本発明は、上記の問題点を解消して、附属 50 板を鉄系素材等の磁石吸着素材11bで形成すれば、コ

3

ンパクト容器 1 の外観を考慮しながら、使い勝手のよい ものが得られる。

【0018】さらに、容器蓋体3の内面の一部を膨隆部 12に形成し、その膨隆部12に磁石11a又は磁石吸 着素材11bを取り付けると、図4に示すように開蓋時 に附属品9を一層取り出し易いものが得られる。

[0019]

【発明の効果】よって本発明のコンパクト容器によれば、化粧料中味の使用時に、コンパクト容器の容器蓋体を開くと、容器蓋体の内面側に、取り出し易い状態で附 10 属品が吸着されて出てくるため、使用者は附属品を簡単に指で摘んで取り出すことができるようになる。

【0020】このため、コンパクト容器の附属品収納部のスペースを小さくしても、附属品を取出すのに苦労することがなくなり、極めて使い勝手のよいコンパクト容器が得られる効果がある。附属品収納部のスペースは取り出し分のスペースを考慮する必要がないので、従来よりさらに小さくすることができ、コンパクト容器もそれにつれて小さくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のコンパクト容器の、閉蓋時の縦断端面 図である。

【図2】前図の開蓋状態の縦断端面図である。

【図3】コンパクト容器の他の実施例の、閉蓋時の縦断 端面図である。 【図4】コンパクト容器の他の実施例の、閉蓋時の縦断端面図である。

【図5】コンパクト容器の他の実施例の、閉蓋時の縦断 端面図である。

【図6】附属品の正面図である。

【図7】他の実施例の附属品の正面図である。

【図8】他の実施例の附属品の正面図である。

【図9】従来のコンパクト容器の、閉蓋時の縦断端面図 である。

0 【図10】前図の開蓋状態の縦断端面図である。【符号の説明】

1 コンパクト容器

2 容器本体

3 容器蓋体

4 レフィル容器

5 化粧料

5 軸

7a、7b 係止部

8 収納凹部

20 9 附属品

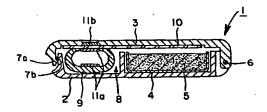
10 鏡

11a 磁石

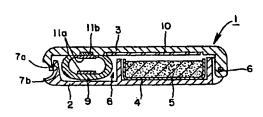
11b 磁石吸着素材

12 膨隆部

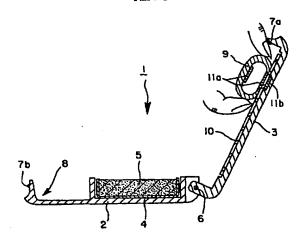
【図1】



【図3】



【図2】



【図4】

